

3

大学バス



右から
梶原講師
大石講師
里山歩きを楽しもう
I



清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@mail.wbs.ne.jp

二月七日（火）三十九回度から講師になる方たちに、学則や交流館使用時の注意点などが説明されました。

新規講師への説明を実施



もはや日々の必需品と言つても過言ではなくなってきたスマートフォン。皆様はどんな使い方をしているでしょうか？「電話とメールができればいいや」そんな方もいらっしゃると思います。しかし、毎月高い利用料を払つていいのにそれだけではもつたいないです。これを機会に『スマホの正しい知識』を見つけませんか？タッチの仕方、これ一つとっても個人個人で癖があります。ちょっととしたことに気をつけるだけでスマホライフがぐつと快適なものになります。

スマホを使いこなそう
講師 薩川千聰



塾生さんからは有難いことに「明」と、言つても講座自体は余談を交えつつ、ゆっくり進みます。私自身の失敗や、日々の生活のどんなところで活用すると良いか、最新のスマホやパソコン事情などを交えつつ、便利なアプリの紹介や、やってはいけない使い方、時には塾生さんのリクエストから内容を変更したりもします。

スマホはどのメーカーだつたら教えてくれる?と聞かれることが多いですが、現在、私は年間四百名ほどのスマホ講座で生徒さんを教えさせていただいております。当然、皆様お持ちのメーカーや販売時期は異なりますので、どのメーカー、どの機種でもご対応いたしますのでご安心下さいませ。

と、言つても講座自体は余談を交えつつ、ゆっくり進みます。私自身の失敗や、日々の生活のどんなところで活用すると良いか、最新のスマホやパソコン事情などを交えつつ、便利なアプリの紹介や、やってはいけない使い方、時には塾生さんのリクエストから内容を変更したりもします。



るい笑顔を絶やさず、一人一人に的確な操作を教えてくれるので講座にくるのが楽しみ」シニア向けのわかりやすい説明で助かる」「様々な質問にもすぐに答えるのが助かる」「安心してスマホを使える方法を教えてくれる」「同じ内容を学ぶにも、スマホの機種によって設定やボタンが異なるのに、その人のスマホに応じて適切な指導をしてくれる」とお言葉をいただいております。

その期待を裏切らないよう、元気で明るく『楽しくためになる』講座をモットーに今後も頑張ります!

スマホを使いこなそう

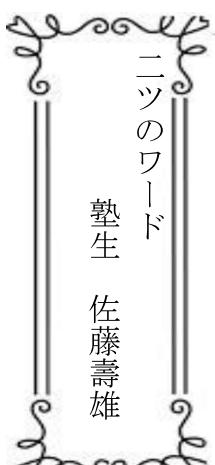
辻交流館 第一・三(火)

十九時

講師 薩川千聰

二ツのワード

塾生 佐藤壽雄



子供の時、二ツのワードを覚えました。国策で移住させながら自国民を平気で見捨てる国、日本。棄民政策で満州に置き去りに。現地で、すべて奪われ丸裸の状態。日本の助けが無くて、どうやつて生きろというのか。その状況下で、襲われまいと汚した衣服を纏い、髪はボサボサ、顔に煤を塗りたくった日本女性に、甘つたるい声で「マダーム」と言い寄り、銃を突きつけ、金品強奪、抵抗すれば発

砲、強姦、銃殺とやりたい放題。私は物陰に潜み、恐ろしい白い巨人が立ち去るのを只管待つ。墮胎手術は福岡県筑紫野市の二日市保健所でなされたとのこと。誰が指導者になろうとも、かの国では他人の物は自分の物、奪うこととは知っていても、与えることを知らない。あれから七十八年経っても変わらない、決して許せるものではない。

進駐軍の通訳にチョコレートを貰い、こつちは砂糖黍をかじっているのに、こんな美味しいものを食べている国と戦つても勝てる訳がないと思いました。生きるがためとはいえ、日本女性が腕にぶら下がっているのを見て、子供心にも、負けるとはこういう



ことかと情けなくなり、貰った進駐軍の帽子を捨て、「ギブミー・チョコレート」と叫びながら、ジープを追いかけるのも止めた。後に、チョコ





38回度途中で亡くなられた塾生に 育章をつけてメッセージを送りました

(写真提供 岩崎講師)

レートの代金は日本政府が出した進駐経費からのものと知りがつかり。岩崎先生の講義は、英語のみならず、幅広く世界に及びます。指名と宿題もありません。英語が分からなくとも、恥を搔くことも、プライドも傷付くこともなく、話を聞くだけで外国へ行った気分になり、知識も豊かになります。

大人のための中學英語
入江交流館 一・三(月)
九時五十分

講師 岩崎芳和



柴田さらさんから作文をいただきました
これからもおいしいお料理を作つてください。
ありがとうございました。

展示会のお知らせ

・書とあそぼう

講師 柳本花香

・会場 西里やませみの湯

・会期 二月一日～三月三十日

書道作品の展示会を行います。

西里やませみの湯にて、柳本花香講師による書道作品の展示会を行います。また、西里やませみの湯の温泉文化についても紹介します。

西里やませみの湯は、古来より温泉として親しまれてきました。その歴史と文化を学ぶとともに、柳本花香講師による書道体験も楽しむことができます。

この機会にぜひご来場ください。

書道作品の展示会

西里やませみの湯

事務局からのお知らせ

一月二十二日（日）マリナートの楽屋に化粧ポーチの忘れ物がありました。

お心当たりのある方は、清見潟大学塾事務局までご連絡ください。



募金ありがとうございます

- ・筆のたのしみ
 - ・書道「蓬会」
 - ・入門「実用書道」
- 講師 太田 静苑

男の料理教室Ⅰ

講師 牧田まさ子

- ・一閑張

- ・里山歩きを楽しもうⅠ

講師 中川昌昭

- ・健康リズム体操Ⅰ・Ⅱ

講師 鈴木節子

- ・創作キルト

講師 木下かつ美

お詫びと訂正

二月号の「募金ありがとうございます」と「書とあそぼう」の講師のお名前が間違っていました。

正しくは

- ・生活に役立つ書道
- ・書とあそぼう

講師 柳本花香

でした。

お詫びして訂正いたします。

常識とは一種の

生活習慣病である

夫の言葉で一番頭にくるのは「お

前は常識がない」という言葉だ、となる老人が言った。もう少し若ければ離婚するなんだけれど、七十を過ぎては手遅れかもね。いやいや、もう少し我慢すれば年金が半分入る。

「常識がない」。これほど非常識な言葉はない。もし、ご主人からそう言わされたら断固反撃すべきだ。まず、「貴方の常識って何よ」から始める。ここで気が付く亭主ならまだ脈がある。たいへいは「何だとはなんだ」と反撃する。そこでトドメの一発。「常識とは十八歳までに凝結した、偏見のかたまりよ」「なんだそれは」「あら、知らないの。インシュタインの言葉よ」。これで亭主はグウの音も出ない。常識とは万人に通用する価値観ではない。育てられた環境と習慣によつてそれぞれに異なるものだ。お中元やお歳暮の来る家と、出る家では常識は全く違う。自分ではそれが常識だと思つていても、他人から見れば偏見に過ぎない。

不思議なことに夫婦一人で長く暮らしていると、だんだん考え方が似てくるものだ。価値観もある部分では共通になる。しかし基本的な部分、それは子供時代に育つた環境の差は簡単には消えない。昔から「釣り合わぬは不縁の基」という諺がある。

あるサラリーマンが商家の娘と

婚した。「お食事よ」と呼ばれ、亭主は居間の灯りを消して食卓につくところが細君は「陰気臭いじやない」と灯りをつける。「もつたいないから消したんだ」。これはサラリーマン家庭の常識。細君の実家の方は食事の時でも店の灯りはつけっぱなし。消したらお客様は来なくなる。店は明るい方がいい。どちらが正しいか、という問題ではない。生活習慣の違いだ。間違いではなく単なる違いである。

常識とは、一種の生活習慣病である。環境により異なった常識が生まれる。トイレの扉を開けたまま用を足すのは非常識か。中国では扉などない。人前でキスをするのは非常識か。欧米では当たり前のこと。

常識がないなどと文句をいう奴は亭主であろうと女房であろうとクビだ。

『不良老人のすすめ』より抜粋
著者 故大石正路（第二代塾長）